

M R T 工法

(Multi Removal Technology)

地中障害物撤去 標準積算資料

2025 年度版

地中障害物撤去
M R T 工法協会

まえがき

2018年9月1日に「地中障害物撤去MRT工法協会」を設立いたしました。当協会は、特に狭隘地に注目した既存構造物の基礎や杭、地下躯体等の地中障害物撤去の施工について、「施工技術の向上」「機械・機材・アタッチメントの研究開発」「工法の普及宣伝」「安全施工への取組」を目的として活動を続けております。

私たちが考える狭隘地の施工とは、約45坪150㎡（約10m × 約15m）の敷地で深度28m程度までの地中障害物撤去と位置づけ、日本車両製造(株)製のDHJ45NR（障害撤去仕様）を主なベースマシンとして施工実績を積み重ね、技術の向上と工法普及に努めて参りました。近年では、更なる技術革新を目指し、2023年より新型障害撤去機DHR70NRを現場に投入し試験施工を続け、2024年より本格的な機械の量産体制と複数の現場施工が実現しており、DHR70NRについても、より効率的で確実な施工を積み重ねております。そして、NETIS（新技術情報提供システム）への登録によりMRT工法の認知度向上と共に、新技術として多くのお問い合わせを設計会社様、並びに建設会社様より頂戴しており、私たちの地道な活動によりMRT工法が全国各地へと着実に普及しているのを実感しております。

これからも続くであろう建て替え需要や再開発等、建設業界のニーズを汲み取り必要とされる工法として存在感を増しているのは、工法協会全体として安定した機械保有台数と施工能力を有し、様々な案件に対応可能な体制構築が確立されているからだと自負しております。引き続き、会員間の連携を強化し、会員各社の技術研鑽にも注力して参りたいと考えおります。今後も、引き続き地道な広報普及活動を続けると共に、今まで施工不可能とされていた地中障害物撤去工事の幅を広げるような技術の向上を図るために会員一同、新たな挑戦を楽しんでまいります。多くの皆様に今後も引き続きのご支援とご協力、ご愛顧を賜ります様、心よりお願い申し上げます。

「DHR70NR」の特徴

●掘削トルクの追求 最大トルク40tf・m

DHJ45NR（最大トルク33tf・m）と比較し掘削トルクを向上

MRT工法では、トルク重視による障害物の切削で振動と騒音の低減を実現

●掘削径と掘削深度

ケーシング径Φ800～Φ1500の施工による効率的な障害撤去施工を実現

最大掘削深度30mの実現

●3インチ全てのウインチにフリーフォール機構を搭載

ハンマクラブでの掘削作業が可能となり、効率的且つ効果的な掘削作業が実現

●可動式フロント&リアジャッキを標準装備

4点ジャッキにより掘削性能を最大限引き出すことが可能

現場搬入出、分解輸送にも有効

2025年4月
地中障害物撤去MRT工法協会
会長 菅原敬介

積算依頼は協会事務局までお問合せ下さい。

地中障害物撤去
MRT 工法積算資料
2025 年度版

地中障害物撤去 MRT 工法協会

事務局 : 株式会社 丸建興業内 (担当: 有山)
住所 : 〒167 - 0022 東京都杉並区下井草 3 - 2 - 1
TEL : 03 - 3301 - 0033 FAX : 03 - 3395 - 3594
MAIL : info@mrt-k.com URL : <https://mrt-k.com>